

テーマ	全経対策 (Ⅳ)：その他期中取引・固定資産・有価証券・租税公課・引出金・精算表・財務諸表
-----	--

1. 次の取引について仕訳を示しなさい。(3 級対策)

- (1) 商品¥1,000 を仕入れるために、内金¥300 を現金で支払った。
 - (2) 上記の商品が手もとに届き、残金を現金で支払った。
 - (3) 商品¥1,000 の内金として¥300 を現金で受け取った。
 - (4) 上記の商品を販売し、残金を現金で受け取った。
 - (5) 本日、商品券¥10,000 を現金で販売した。
 - (6) 商品¥10,000 を売り上げ代金は商品券で受け取った。
 - (7) 商品¥10,000 を売上げ、代金は他店発行の商品券で受け取った。
 - (8) 備品¥1,000 を売却し、代金は月末に受け取ることにした。
 - (9) 上記の未収金¥1,000 を現金で回収した。
 - (10) 備品¥1,000 を購入し、代金は月末に支払うことにした。
 - (11) 上記の未払金¥1,000 を現金で支払った。
 - (12) 現金¥1,000 を貸し付けた。
 - (13) 貸付金¥1,000 の返済を現金で受け、利息¥100 も現金で受け取った。
 - (14) 現金¥1,000 を借り入れた。
 - (15) 借入金¥1,000 を現金で返済し、利息¥100 も現金で支払った。
 - (16) 従業員より給与の前借り¥1,000 の要求があり、現金で立て替えた。
 - (17) 本日給与¥10,000 の支払いにあたり、立替金を差引き、残金を現金で支払った。
 - (18) 従業員より旅行積立金¥1,000 を現金で預かった。
 - (19) 旅行者に対して、上記の預り金を現金で納付した。
 - (20) 従業員が出張するので、現金¥1,000 を交通費として概算額で渡した。
 - (21) 従業員が出張から帰り、残金¥300 を現金で受け取った。
 - (22) 従業員が出張先から、現金¥1,000 を送金してきた (内容は不明である)。
 - (23) 従業員が出張から帰り、上記の送金が売掛金の回収であるとの報告を受けた。
 - (24) 現金¥1,000 を貸付けて同店振出しの手形で受け取った。
 - (25) 現金¥1,000 を借入れるために手形を振り出し、利息 10% が差し引かれ、残金は現金で受け取った。
 - (26) 土地¥500,000 を購入し、仲介手数料など¥5,000 とともに現金で支払った。
 - (27) 保有している土地の整地のために、¥500,000 を現金で支出した。
 - (28) 保有している建物の修理のために、¥50,000 を現金で支出した。
 - (29) 1 株¥50,000 の株式を 10 株現金で購入した。(¥50,000×10 株=500,000)
 - (30) 額面¥500,000 の国債を@¥98 現金で購入した。(¥500,000÷100×¥98=490,000)
 - (31) 1 株¥50,000 の株式 10 株を 1 株¥60,000 で売却し代金は現金で受け取った。
 - (32) 1 株¥60,000 の株式 10 株を 1 株¥50,000 で売却し代金は現金で受け取った。
 - (33) 店主の所得税¥5,000 を現金で支払った。
 - (34) 店舗の固定資産税¥2,000 を現金で支払った。
 - (35) 商品 ¥96,000 を掛けて売り渡した取引を、借方、貸方とも誤って ¥69,000 と記入されていたので、正しい金額に修正をした。
 - (36) 商品 ¥96,000 を掛けて売り渡した取引を、貸借を誤って記入していたので、訂正仕訳をした。
- ⇒ 日商 3 級トレーニング：P62～81 を解く！

テーマ	全経対策（Ⅳ）：その他期中取引・固定資産・有価証券・租税公課・引出金・精算表・財務諸表
-----	---

2. 次の取引について仕訳を示しなさい。（2,3 級対策）

- (1) 決算日となり商品に関して決算整理仕訳を行う。なお、当期商品仕入高は¥1,000、期首商品棚卸高は¥300、期末商品棚卸高は¥200 であった。売上原価は仕入勘定で算定する。
- (2) 決算日となり商品に関して決算整理仕訳を行う。なお、当期商品仕入高は¥1,000、期首商品棚卸高は¥300、期末商品棚卸高は¥200 であった。売上原価は売上原価勘定で算定する。
- (3) 決算日（3 月 31 日）にあたり、12 月 1 日に 1 年分¥1,200 支払った保険料のうち、未経過分を繰り延べる。
- (4) 4 月 1 日、期首につき、上記の経過勘定について再振替仕訳を行う。
- (5) 決算日（3 月 31 日）にあたり、12 月 1 日に 1 年分¥1,200 支払った保険料のうち、未経過分を繰り延べる。
なお、保険料は昨年より毎年 12 月 1 日に支払っている。
- (6) 次の決算整理後残高試算表より、貸借対照表（勘定式）および損益計算書（報告式）を作成しなさい。

決算整理後残高試算表			
現金預金	1,320,000	支払手形	130,000
受取手形	165,000	買掛金	215,000
売掛金	465,000	貸倒引当金	12,600
繰越商品	91,200	減価償却累計額	810,000
前払家賃	3,000	退職給付引当金	600,000
未収利息	5,000	資本金	2,500,000
貸付金	830,000	資本準備金	300,000
建物	3,000,000	利益準備金	210,000
仕入	1,085,000	任意積立金	400,000
貸倒引当金繰入	12,600	繰越利益剰余金	351,000
減価償却費	90,000	売上	1,776,200
支払利息	156,000	受取利息	77,200
支払家賃	167,000	固定資産売却益	7,800
	<u>7,389,800</u>		<u>7,389,800</u>

テーマ	全経対策（Ⅳ）：その他期中取引・固定資産・有価証券・租税公課・引出金・精算表・財務諸表
-----	---

貸 借 対 照 表

資 産 の 部			負 債 の 部		
I 流動資産			I 流動負債		
()	()	()	()	()	
()	()	()	()	()	
()	()	()	流動負債合計	()	
計	()		II 固定負債		
()	()	()	()	()	
()	()	()	固定負債合計	()	
()	()	()	負債合計	()	
()	()	()	純 資 産 の 部		
()	()	()	I 株主資本		
流動資産合計	()		1 資本金	()	
II 固定資産			2 資本剰余金		
()	()	()	(1) ()	()	
()	()	()	3 利益剰余金		
固定資産合計	()		(1) () ()		
			(2) その他利益剰余金		
			() ()		
			() ()	()	
			純 資 産 合 計	()	
資 産 合 計	()		負債及び純資産合計	()	

損 益 計 算 書

I 売上高	()	
II 売上原価		
1. ()	()	
2. ()	()	
合 計	()	
3. ()	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		
()	()	
()	()	
()	()	()
営業利益		()
IV 営業外収益		
()	()	
V 営業外費用		
()	()	()
経常利益		()
VI 特別利益		
()	()	()
当期純利益		()

⇒ 日商 2 級商業簿記トレーニング：P58～69,80～88 を解く！